

2023 年度(第 32 回)日本マレーシア学会(JAMS)研究大会

日程:2024 年 1 月 21 日(日)

場所:東京大学駒場キャンパス KOMCEE21 West

〒153-8902 東京都目黒区駒場 3-8-1

9:45 開場

10:00 開会挨拶 永田淳嗣久(大会準備委員長/東京大学)[会場:レクチャーホール]

10:05-10:55 会員総会[会場:レクチャーホール]

11:00-12:00 個別研究発表[会場:レクチャーホール]

個別研究発表 1 チュー・フイヤン(愛知淑徳大学)

「マレーシア映画における食べ物、アイデンティティ、空間」

個別研究発表 2 李光平(上智大学大学院博士前期課程)

「カトリック教会の「アッラー事件」—教会の言説にみるイスラーム社会との関係性」

12:00-13:00 昼休み

12:00-13:00 ポスターセッション[会場:MM ホール]

13:00-14:30 シンポジウム(1)「現代マレーシアにおける心と体」[会場:レクチャーホール]

司会・趣旨説明 篠崎香織(北九州市立大学)

報告 1 板垣明美(横浜市立大学)

「マレー人の体質・気質・食べ物と合うこと(sesuai)の重要性」

報告 2 栗原美紀(共愛学園前橋国際大学)

「ヨガ実践から考える身体感覚の解釈と信仰:マレー系・インド系のヨガ指導者を事例として」

報告 3 久志本裕子(上智大学)

「マレー・ムスリムにとっての心身の癒しとイスラーム:「共に在ること」の重要性」

コメント 古賀万由里(開智国際大学)

全体討論

14:45-16:45 シンポジウム(2)「混成社会マレーシアにおけるフィールド調査のあり方をめぐって—科研費プロジェクトによる共同研究の経験から」[会場:レクチャーホール]

司会・趣旨説明 山本博之(京都大学)

セッション 1 調査の組織と成果

報告 篠崎香織(北九州大学)

「合同調査の組織と課題—混成社会マレーシアにおける移民の社会統合研究プロジェク

ト(2016-2023 年度)の事例から考える」

コメント 宮崎恒二(人間文化研究機構)

セッション 2 非正規移民と調査言語

報告 細田尚美(長崎大学)

「非可視化という実践——サバ州在住フィリピン移民の調査の経験から」

コメント 清水展(関西大学)

セッション 3 調査、生活、記録

報告 小野真由美(立命館大学)

「共同研究の積み重ねを通じたマレーシア地域研究の遂行——フィールドワーカーの調査、生活、記録から」

コメント 伊藤眞(東京都立大学)

コメント 山下晋司(東京大学)

ディスカッション

16:45-16:50 閉会挨拶 永田淳嗣(JAMS 会長／東京大学)[会場:レクチャーホール]

16:50-17:50 研究交流会[会場:MM ホール]

(会費無料、事前登録不要。飲食の提供なし(持ち込み可))